

思ったのです。これまで自分はどれだけつらかったのかを話そうとすると、すぐに母は顔色を変えて怒鳴りちらし、まるで聞こうとしませんでした。それでもこのときは、母の反応にひるむことなく、長年言いたかったことを、ともかく口に出して伝えました。母の耳にはまったく入らなかったでしょうが（笑）

— いくつでも、始めるのに遅すぎることはない —

50歳で東大に入学したことで「いくつになっても、始めるのに遅すぎることはない」ということを広くインフォメーションできたことはよかった、と安政は言う。

「私自身、東大に入ったからと言って、人間としての価値が変わるようなことはないです。東大生は、最高峰の大学に入ったという自負が、多かれ少なかれあると思います。それはやはり合格したことで、満足感や自信が得られるからです。しかし学歴は、人生であり関係ないと思います。両親は学歴を気にする人たちでしたが、学歴がなくても社会で活躍している人はたくさんいます」

自身の子育てと塾で学んでいる生徒を見ていて思うことがある。それは、子どもたちに